

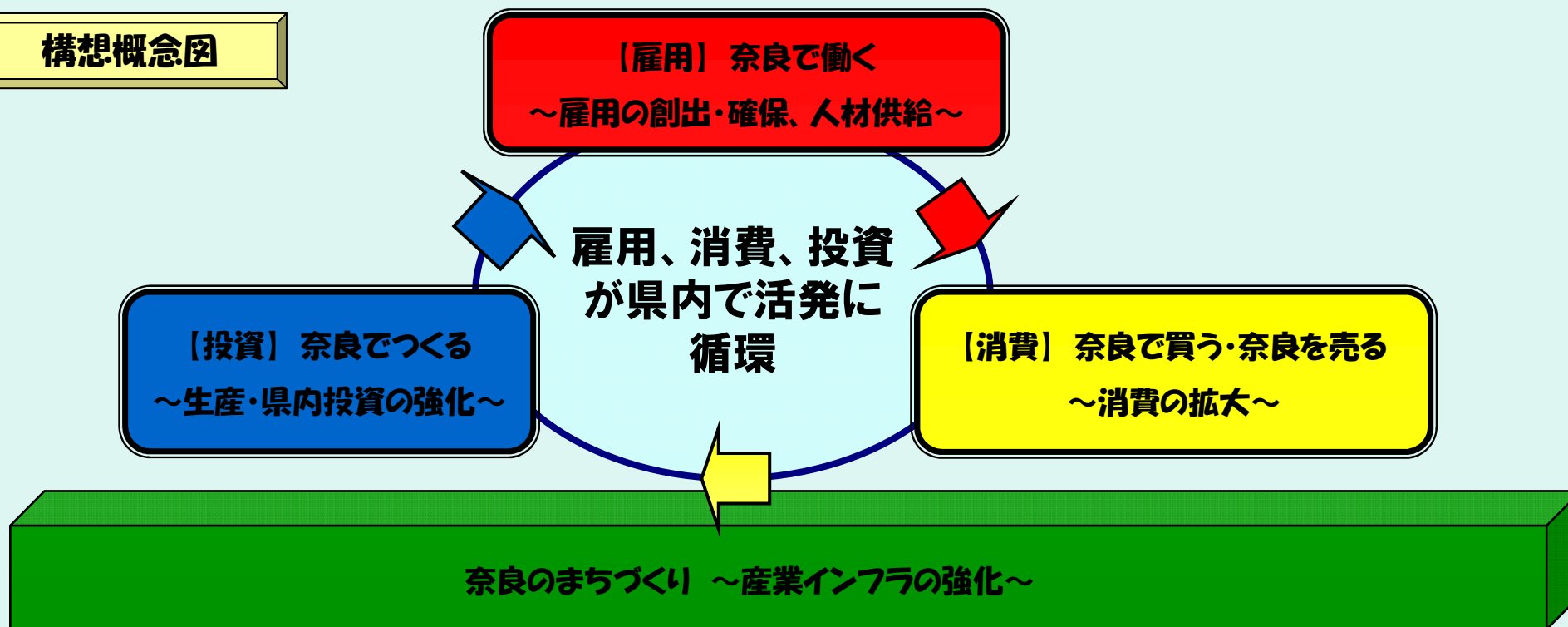


(仮称)「ポストベッドタウン奈良(産業・経済振興)」構想案



現 状	<ul style="list-style-type: none"> ●県内生産額の減少 ●県内雇用者所得の減少 ●消費が県外へ流出
基本方策	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源の活用 ●奈良ブランドの育成 ●産学官・産産連携、地産地(他)消の強化 ●産業活性化を支える基盤づくり(人材・インフラ)
目指す姿	<p>「奈良で暮らし」「奈良で働く」～雇用、消費、投資が県内で活発に循環～</p>

構想概念図



基本戦略

【雇用】 奈良で働く ～雇用の創出・確保、人材供給～

基本戦略

- ◆「地域雇用研究会」等において奈良の雇用政策のあり方を検討します
- ①雇用の量の拡大
- ②雇用の質の向上
- ③雇用のミスマッチ解消

【投資】 奈良でつくる ～生産・県内投資の強化～

基本戦略

- ◆地域資源の活用、産学官・産産連携の推進により、高付加価値型産業を育成します
- ①地域資源を活用した地域産業の活性化
- ②産学官・産産連携による高付加価値型産業の育成

【消費】 奈良で買う・奈良を売る ～消費の拡大～

基本戦略

- ◆地産地(他)消、観光消費の促進、奈良ブランドの育成により、消費を拡大します
- ①地産地(他)消の推進と奈良ブランドの育成
- ②魅力ある街の創設
- ③地域資源を活用した観光産業の活性化



奈良のまちづくり ～産業インフラの強化～

- ## 基本戦略
- ◆持続的な産業発展の土台づくりを整備します
 - ①産業インフラの整備 ②支援機関の整備